



学校だより

令和 元年 5月 7日
第4号
四日市市立小山田小学校

令和元年 新緑の季節5月を迎えました！

新年度がスタートし、早くも1か月がたち、新緑の季節5月を迎え元号が令和となりました。校内には、子どもたちの元気な声が響き渡っています。どの学年の子どもたちも、新たな学年での生活にも慣れ、目標に向かって様々な取組を進めています。

元号が変わると時代の移り変わりを強く感じます。社会情勢の変化とともに、いじめや不登校・児童虐待への対応やICTの活用などに加え、教職員の働き方改革等、新たな教育課題も増えています。また、学校教育も、令和2年度には「小学校学習指導要領」が本格実施となり、道徳や外国語活動の教科化（本市では、すでに先行実施済）、プログラミング教育等、学習内容や「主体的・対話的で深い学び（アクティブラーニング）」による学び方の変容など、変革の時期を迎えています。

しかしながら、時代が変わろうとも、学校生活において学ばなければならない大切なことは、教科の学習とともに、子どもたちが集団生活の中で自分や他者との関わり方を身につけることです。子どもたちには、学級集団や異学年の仲間、地域の方々との活動や交流等を通して、生きる力・共に生きる力を育ててほしいと思います。



満開の藤棚の下で(4/26撮影)

なかよしタイム！

4月24日（水）の1限目に、今年度1回目の縦割り班による「なかよしタイム」を行いました。1～6年生がそれぞれ各1～2名ずつ計11～12名の16の班に分かれて年に6回実施します。

初めに6年生が1年間の「なかよしタイム」の活動内容を紹介した後、1回目の顔合わせということで、各自が好きな遊びと好きな食べ物を含めた自己紹介をしました。そして、各班、それぞれしりとりやハンカチ落とし、じゃんけん列車、何でもバスケットなどで、親交を深めました。どの班も6年生が下級生をしっかりリードして進めていました。

このような異学年が年間を通して少人数で交流できるのも、小規模校ならではのメリットです。また、「なかよしタイム」だけでなく、2学期に行われる「運動会」と「芋煮会」といった大きな行事もこの縦割り班で活動します。これらの取組を通して、子どもたちの『仲間と共に生きる力』と『自立する力』を育みます。



本が好き！ 学校図書館司書の紹介

教育委員会の予算で配置されています学校図書館司書として、今年度も、昨年度に引き続き大谷佳範さんに来ていただいています。原則、毎週月曜日に勤務していただき、図書室の本の管理や授業の支援、ブックトークや図書の紹介、委員会活動への支援などに携わっていただきます。子どもたちには、できるだけ多くの機会に図書室に足を運び、本に親しんでほしいと思います。

2年生がお話を聴く(4/12)



みんなでがんばって歩いた遠足！

4月25日（木）、小山町のいこいの広場（三重県環境保全事業団新小山最終処分場）に全校で片道約3キロの道のりを歩いて遠足に行ってきました。心配された雨も朝には上がり、蒸し暑い気候でしたが、幸い曇り空でさほど気温も上がることなく、怪我や体調不良もなく全員無事に帰って来られました。1年生も最後まで頑張って歩きました。

自然に囲まれた環境の公園では、遊具はありませんでしたが、クラスで「だるまさんが転んだ」や園内の階段で「グリコ」のじゃんけん遊びなどのレクをしたり、友だちと四葉のクローバーを探したり、カエルやテントウムシを捕まえたりして楽しく過ごしていました。お昼には、クラスの班で仲良くお弁当やおやつを食べました。

午後からは、せせらぎの水路に移動し、事業団職員の方から、高学年は、産業廃棄物の処分や汚水の管理・環境保全について、また、高学年・低学年それぞれ、天白川の環境を復元して育てられたホタルの一生についてのお話を聴かせていただいたり、実際にホタルの幼虫を見せていただいたりしました。子どもたちは、「なぜ蛍は光るのですか」などの質問をして、みんなしっかりと話を聴いていました。

6年生は、行き帰りから現地でもずっと1年生の自分のペアの子と一緒に過ごし、本当によく寄り添って来ていました。特に道路を歩く時には、手をつないで自分たちが車道側を手をつないで、1年生の子を危険から守ろうとする姿に感心しました。このような6年生の姿は、上級生が下級生の面倒を見る小山田小学校のよき伝統です。

今回の遠足は、コミュニティスクール運営協議会委員の里中さんに環境事業団の方々をご仲介いただき、実現しました。事業団の方々には、事前に危険箇所にはロープを張っていただいたり、当日は、到着から帰りまで見守っていただいたりした上に、子どもたちには色鉛筆のお土産までいただきました。事業団の皆様、大変お世話になりました。

